

# 民報あばしり

NO. 916

2013. 4. 28

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四四三、四四五八  
F 四二一、四四五七



## 参院選で必ず勝利!

日本共産党網走市委員会は、21日午前10時からエコーセンターで大門実紀史参議院議員を迎えての演説会を行いました。

この日、網走市内のほとんどの小学校が参観日のため参加に若干の影響がでしたが、会場となった大会議室いっぱい110名を超える参加になりました。

飯田敏勝議員が司会進行を行い、主催者を代表して松浦敏司党網走市委員長が開会のあいさつを行いました。

続いて、地域で奮闘している党と後援会の立場からKさんが安倍内閣の悪政に対する住民の怒りの声や参議院選挙での決意を述べました。

また、年金者の立場からOさんが安倍内

閣が進める年金支給額削減の問題で、地域に与える影響などについて数字を示し、共産党の躍進で社会保障の削減にストップをかけてほしいと訴えました。

最後に、大門実紀史参議院議員からアベノミクスとは何か①公共事業のバラマキ②成長戦略で大企業を応援する③金融緩和政策で、お札を印刷して金融機関にわたす。これらの政策は過去にも行っているが成功していない。財政規律を無視してやっているが、これで景気は良くならない。

共産党は以前から労働者の賃金を引き上げ、正規雇用を増やすことが必要と言ってきました。また、円安、株高の問題では、経済が良くなつてきているものではない、投機マネーによる株高と円安になっている。バブル現象が間違いないと起きていると警鐘を鳴らしました。

TPPと憲法改悪についても話しながら、原発の問題で、なぜ安倍内閣が再稼働をしようとするのか、その背景には財界の圧力があると説明しました。そして、ドイツが「人間の倫理に反する」として、脱原発を決断したが、原発は、大人としての責任であり党派を超えて取り組む必要があるとのべました。

安倍自公政権が危険な方向に進もうとしている中で、「歴史的な参議院選挙で日本共産党の躍進にお力添えを」と訴えて終了しました。参加者の1人であるHさんは、原発のことでは力をいただきましたと感想を述べていました。



## 松浦敏勝メモ

大門参議院議員を迎えての演説会終了後、北見市まで大門議員を送って行きました。帰りに時間的余裕があったので、久しぶりに生まれ故郷の端野町字北登の旧小中学校を尋ねました。

私は、この学校へ中学1年を終了するまで通っていました。校庭には大きな榎の木が立っていて、いつも子ども達はその周りで遊んでいました。あれから47年が経ち私は還暦を迎えました。

今回、校庭に行くと大きな木だった、その榎の木も今は、大きな枝が朽ちて折れてなくなっていました。また、地域の方が、弱った木の枝を何本もの丸太で支えています。あれから50年近い歴史が経ち、小さくなってしまった巨木に懐かしさと同時に寂しさを感じました。

私は、心が疲れたとき故郷を尋ね車でゆっくり走らせて通りませんが、なぜかスッキリします。故郷の景色や空気が心を癒すからだと思います。

## いっせ東奔西走

以前、大きな社会問題となったサラ金問題は平成18年の貸金業法等の改正とその後、関係者の努力による被害対策によって、表面上は世間の大きな注目から消えています。そのような中で、生活相談がありました。

Aさん、16年前にサラ金からお金を借りて、数年間は定期的に返済していましたが、元金があり減らず、10年前から返済できなくなり、住所も変わり、請求も来なくなりしましたが、突然、4月初めに違う会社から「訪問予告通知」という文書が来て、残元金に遅滞利息・不足金を加えると4倍弱の支払い通知です。すぐに担当者から「元金の3分の1の頭金+2年間で残りを分割なら残元金で済む」との電話です。

すぐさま弁護士事務所相談、あやしい会社と消滅時効を援用しての通知書を「書留内容証明郵便物」として発送し、請求停止を求めました。

弁護士さんに聞くと、法改正後、倒産したサラ金会社の社員が顧客リストを持ちだし、債権回収会社に売ったため、このような事例が全国的に多発しているとか。まだまだ世の底流で多重債務問題は生き続けています。私たちも勉強して相談に備えます。

## 流水

最近やたらと地震が多い。その半数以上は東日本大震災の余震と言われているけれど、北海道でも、淡路島でも...

▼昔、学校で死火山、休眠火山、活火山の火山があると習いました。でも、今では死火山というのはないということです。科学の進歩によるものです。最近「活断層」という言葉をよく聞きます。昔流にいえば「死断層」「休眠断層」もある?▼原発再稼働をめぐる、科学者と原子力発電所側の見解や主張が食い違っています。「原発の下に活断層がある危険だ」「古い断層だから、活断層ではない、安全だ」▼科学者ではないからよくわからないけれど、原発の敷地内や真下にさえ走っているのは事実だと言っているのは理解できる。「地震の巣」「火山の巣」と言われる日本列島です。最近の地震の多さや、富士山噴火予想などから、とてつもない災害が起きるかも?という不安を完全否定できる人はいないのではないのでしょうか。ああ、その列島に54基もの原発がひしめいている!▼安倍政権は「原発ゼロ」はまったく無責任だと言う。福島ではいまだに放射能が漏れ続け、近寄ることができないと言っている。「安全」というのは誰にとつての「安全」?どんな「安全」?(O)